



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.93

2024.夏号



デイケアセンターの皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、
潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から
介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワーク
を構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりが
いを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～11
- 憩いの丘…………… p12～13
- 備中荘…………… p14～15
- 宇垣荘…………… p16～17
- 玉松園…………… p18～19
- 里山の生き物in岡山…………… p20

岡山丸の内ロータリークラブ&就実インターアクトクラブ

5/22 水

5月22日：ロータリークラブ会員の皆さんと就実高校の生徒さんが社会奉仕活動の一環として来所されました。例年は書籍やDVDを贈呈していただいていたのですが、この度は岡山丸の内RC・岡山城RCとインターアクトクラブ等で作成された『もうひとつのももたろう SDGs編』という絵本の読み聞かせを企画、披露していただきました。

この絵本は、将来を担う子供たちにSDGs（持続可能な開発目標）の理解を深めるため、岡山の郷土愛を育むために岡山を象徴する『桃太郎』伝説をSDGsの内容に置き換えて「もうひとつのももたろう」のお話として作成されたものです。

クラブ会員の皆さんが持ち寄った機材に絵本を投影しながら生徒さんは情感たっぷりに演じ、関連したクイズを織り交ぜながら一生懸命SDGsの重要性について説明して下さる姿がとても微笑ましく、利用者の皆さんも若い高校生との交流を楽しまれていました。絵本は、センターに寄贈していただきました。有り難うございました。

※インターアクトクラブ：中学・高校生のための社会奉仕クラブで、ロータリークラブの支援を受けながらボランティア活動や国際理解を促進するクラブです。



オカリナ ♪ アイリス



5/29 水

5月29日：やすらぎホールにて、結成11年目を迎えた「オカリナ♪アイリス」の皆さんをお招きし、代表の中納裕見子様から曲紹介をして頂いた後、「瀬戸の花嫁」や「ふるさと」など7曲を演奏して頂きました。

オカリナには、「アルトC管」「アルトg管」など大きさの異なったものがあり、高い音や低い音を出しながら、素敵なハーモニーを奏でることが出来ます。「瀬戸の花嫁」や「ふるさと」を聴いた利用者の方は、「もう、涙がでるわ～」とオカリナの演奏に心を打たれていました。

グループ名に“アイリス”という花の名前をつけ「明るく美しくイキイキと」をモットーに活動をされている「オカリナ♪アイリス」の皆さんの演奏は、利用者の皆さんだけでなく、職員の私達にも癒しと元気を与えて下さいました。素敵な演奏を有難うございました♪





夏祭りゲーム大会



7/11 木

7月11日：やすらぎホール内で夏祭りゲーム大会が行われました。夏祭りゲーム大会は、各施設が出し物を出し、利用者の皆さんが順番に参加券を持参しゲームに参加していくというものです。

なごみ苑の出し物「ゲートボール」では、いつもは車椅子で移動されている方もリハビリの職員に体を支えてもらいながら立ち上がり、少し重たいクラブをボールに当てて、番号が書かれた穴にボールを入れて楽しまれていました。



なごみ苑



たちばな苑は玉入れ、みなみがた荘は魚釣り体験、デイサービスはヨーヨー釣り、なでしこ苑はパチンコ、デイケアサービスは段ボールフリスビーと利用者の皆さんが楽しく出し物を体験できるよう、職員が寄り添ってルールを説明していました。体験が終わると参加賞として手作りの紙風船や毛糸で作られたタワシなどを渡していました。



たちばな苑



みなみがた荘



デイサービス



なでしこ苑



デイケア



やよいの里は今年から「くじ引き」を新たに作り、ストローとボールを繋ぎ、ストローを引くと白やオレンジのボールが引きあがってきて、白が上がれば“当・た・り”となるというもので、とても工夫されていて、利用者の方もドキドキしながらくじを引かれていました。

あっという間の2時間でしたが、利用者の方は夏の風物詩をとても楽しまれていました。

やよいの里





コミュニティカフェ

5/17 金



鯉のぼり♪



ポチ袋作り



健康体操



長崎の鐘♪

トーンチャイム♪

福祉施設である当センターは、岡山県済生会の「なでしこプラン」の1つである「コミュニティカフェなでしこ（岡山市地域型認知症カフェ）」をボランティアの皆さんのご協力のもと毎月第3金曜日に行っています。認知症の方やそのご家族及び地域住民の方を対象とし、認知症に関する相談や地域の交流の場として施設を提供しています。

5月17日は、ハンドベルグループの「和音（かのん）アップダウン」の皆さん8名をお招きし、口腔ケアを目的として歌を歌ったり、リフレッシュやストレス解消に楽器を使って演奏をしたりと音楽を楽しみました。

当日は、こどもの日にちなみ「鯉のぼり」を歌ったり、トーンチャイム♪という楽器を使って「長崎の鐘」を演奏しました。皆さんは、それぞれ違った色のシールが付いたトーンチャイムを片手に持ち、色付きの楽譜に従って、自分の色が来るとトーンチャイムを軽やかに振り、とても楽しそうに演奏されていました。

音楽の他に、ポチ袋を折ったり、理学療法士と健康体操を行ったりと、皆さんは、2時間のコミュニティカフェの時間を楽しく過ごされていました。

◎コミュニティカフェなでしこ

：毎月第3金曜日 13時30分～15時30分

参加費：100円 予約不要。

◎①なでしこプラン（済生会本部）

②なでしこプラン（支部岡山県済生会）



消火訓練

6/13 木

6月13日：本館玄関前にて、新人職員を対象とした7名の職員（看護・介護・事務）が消火訓練を行いました。初期消火に使用する消火器の使用方法や消火栓からの放水方法について、担当職員から教わりました。

訓練とはいえ緊張感があり、消火器の噴射や消火栓から放水の素早い対応や放水ホースの重さを感じ、消火の大変さを実感しました。消火現場では、素早く落ち着いて対応することが重要なため、訓練の重要性を感じました。

宮崎 真希



6月の誕生日会

6月6日(木)は誕生日会でした。

催し物は殺陣を行いました。最初に木刀を使い、1対1の殺陣の立ち廻りの演者は掛け声を出しながら行いました。続いて182cmの6尺棒を使い中段の構えで壁や床を擦れ擦れの状態で殺陣の演武を行いました。最後に重量がある居合刀を使い、正眼の構えから「胴斬り→逆袈裟斬り→袈裟



斬り→真っ向斬り→突く」の順番で演武を終えました。入居者様から「初めて見ました。」「良かったです。」「ありがとう。」「見て涙ができました。」とたくさんの称賛の声をいただきました。

次回もまた入居者様に喜んでいただけるような企画を考えたいです。

介護職員 藤田 康子

仮装カラオケ大会



新型コロナの流行により自粛していましたが、約5年ぶりに利用者の皆様が楽しみにしていた仮装カラオケ大会が再びやすらぎホールにて行えるようになったのです。そしてそれは去る6月7日に開催され、我々やよいの里のメンバーは、山本リンダの「狙い撃ち」を歌いました。

利用者様の熱い声援を受け、ステージの上の職員も本家リンダを超える熱唱を皆様にお届け出来たと思います。

介護職員 藤田 格

風船バレー施設対抗戦

今年度第一回目の風船バレー施設対抗戦が開催されました。今回初めて参加された入居者様から感想をお寄せいただきましたのでご紹介させていただきます。

『風船バレー施設対抗戦に参加して』

6月26日、風船バレー施設対抗戦に「やよいの里」の選手の一ひとりとして参加させていただきましたこと、ありがとうございました。チームは2連勝と好成績でしたが、私自身の貢献度はゼロでした。風船バレーボールに1度でもタッチできたのか!?!と記憶もあいまいなありさまで、まことに申し訳ない事でした。それでも、楽しい時間をいただいたことに感謝するとともに、今後の生活をがんばりたいと思いつつ、つたない1句を……。

「風船バレー、年も忘れた“やよい”の魔女よ」。

入居者 塩井 晋介 様



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《なごみ苑 春祭り》

5月23日に、20名の入居者の方が参加され、なごみ苑春祭りが行われました(^^)

栄養科の屋台をお借りして、ミニお好み焼きと手作りのスベラカーゼのわらび餅の2種類を提供!!わらび餅は午前中から職員が手作りし、準備をしました☆

お好み焼きは、実は冷凍食品でしたが(^^) 解凍したものをホットプレートで温めて鰹節と青のりをかけたもので「手作りだと思ったわ〜。お美味しかったよ!」との声がたくさん聞かれました。

皆さん、昼食からあまり時間が経っていませんでしたが、おやつは別腹のようで(笑)、完食される方が多くいらっしゃいました。また、皆さんで楽しいひと時を過ごしましょう〜



《七夕茶会》



7月9日、2日遅れではありますが清風庵さんの和菓子と冷茶をお出しして七夕のお茶会を開きました。

和菓子の菓名は『たなばた』で見た目も可愛らしく、味も良し!

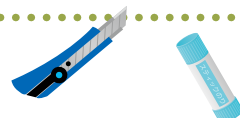
「中は餡子だ」「美味しい」と喜んで頂きました(*^^*)。



入居者様に七夕の思い出を伺うと「小豆島で一度だけ天の川を見たことがあるの☆」と話して下さり驚きました!! 天の川は夏から冬にかけて見えるそうですが、一番きれに見えるのは夏の天の川だそうです。街中では灯りにかき消されて見る事が出来ないらしく残念ですが、私もいつかどこかで見てみたいと思いました。



《工作》



月に一度ですが工作や手芸の時間を設けています。今回は風鈴作りにチャレンジしてみました。

膨らました小さな風船に水で薄めたボンドを塗り、ちぎった障子紙を貼り付けます。障子紙が乾かないうちに、今度は色のついたすき紙を重ねて貼っていきます。皆さん初めての作業に「難しいわ」「これでいいのかしら」と1枚1枚丁寧に貼り終えました。しっかり乾くまで数日置くので、その日の内に完成には至りませんでしたが「どんなになるのかしら」とか窓辺に置いて乾燥させているのを見て「これが私のよ」と話をされている姿を見て楽しんで頂けたのかなと嬉しく思いました。次回は何を作りましょうか? リクエストも受付中です! (^^)



介護職員 渡邊 由美 三好 理加



仮装カラオケ大会



6月7日（金）に仮装カラオケ大会が交流ホールにて開催されました。新型コロナウイルスが5類に移行し、利用者の皆さんが集って開催できる行事が徐々に再開されている中で、この仮装カラオケ大会も久しぶりの開催となりました。各施設・部署ともに仕事の合間に練習を重ね、本番は皆さんの前で渾身の演技と歌唱を披露し、会場は大いに盛り上がりました。

みなみがた荘は、大トリに「マツケンサンバⅡ」を披露しました。舞台に上がる職員は、普段見る姿は制服を着用しマスク越しの表情なので、登場した職員達の姿に観客の職員一同、利用者の皆さんは仰天びっくり!! それもそのはず、4人共にスパンコールの衣装を身にまとい、派手なメイクと振付でステージを所狭し踊りました。メインの「マツケン」ならぬ「ミヤケン」は、一度観たら忘れられず夢に出てきそうなインパクトあるメイクにワガママボディで熱唱しました。皆さん馴染みの曲目なので、手拍子をしながら会場一体が盛り上がり、楽しい余韻を残しながら大会は幕を閉じました。出演された職員の皆さん、最後まで楽しんでいただいた皆さん、お疲れさまでした。



なでしこ苑

介護老人保健施設

《仮想カラオケ大会》

感染対策中で延期になっていた毎年恒例の全施設合同の仮装カラオケ大会が6月7日に開催されました。当施設ではマツケンサンバⅡを披露させていただきました。

行事予定表を見られたご利用者様から何時からあるの？職員はだれが出るの？入浴日であるが見に行けるの？何するの？と開催前から楽しみにされ、開催後にもご利用者様同士で余韻を楽しまれ、マツケンサンバを口ずさむ方もいました。私も開催前後は暫く頭の中に延々とマツケンサンバのBGMが流れていました（笑）

マツケンサンバを披露するにあたって衣装は着物にさせていただいたのですが、ご利用者様の中には着付けを手伝ってくださる方がおり、帯はこうした方が良いよとアドバイスしてくださったり、手直しをしてくださった方がいました。普段とは違った一面が職員だけでなくご利用者様からも伺えた一日になったと思います。

普段、制服姿の職員がいつもとは違った姿や美声を披露していましたがいかがでしたでしょうか？

それでは、次回も乞うご期待を σ(°▽°) オッレイ♪

介護職員 長谷川 弥生



《夏祭りゲーム大会》



先日7月11日に施設全体での夏祭りが行われました。

コロナが流行り始めてからずっと中止していた為、久しぶりにホールで行う夏祭りイベントに何のゲームが良いのか悩みました。その結果、なでしこ苑では“大人のゲーム”と称して昔懐かしいパチンコを出店することにしました。各施設のゲームから選んでもらった時いつもは寡黙な男性利用者さんが一番に「パチンコ〜！」と選んでくれました。聞けば昔よくパチンコに通っていて楽しんでいたとのこと。その方は当日も上手に微調整しながらボールを全部入れられていました。

パチンコ台は職員の手作りで段ボールを使って2台制作。なかなかのクオリティーで大会開始前には職員が何人か試して楽しまれていました。ゴムのボールをばねの付いた棒で弾いて点数を書いた所に入れる



のですが、棒を引っ張る加減が難しくなかなかボールが飛びません。でもだんだんとコツをつかんで上手く得点が取れる方もいてボールが入った時には笑顔と歓声が聞こえました。ボールが入っても入らなくても、皆さん楽しめた様でした。

ある女性の方は狙いを定めて棒を引っ張ったところ、前で見守っていた男性職員の大切な場所にヒット!! みんなで大笑い!! ある意味誰よりも大当たりとなりました（笑）

また来年もこのように皆さんが笑顔で楽しめる催しが増えるといいですね。

介護職員 三好 由美子

〈2F〉《夏のカクテルパーティー》

前回の春号にて、2階のご利用者様は、脳トレが日課になって以来、スタッフに「何か、クイズを出してよ」、「面白いお話をして」とリクエストされることがあります。

その中から、クイズの一部を公開させていただきます。

「茶碗蒸しの発祥地は、どこ？」この問題の答えは、長崎県。茶碗蒸しは、江戸時代、長崎でオランダ人をもてなすために発案された料理です。

「中国5県で、パンの消費量の多い県は、どこ？」この問題の答えは、岡山県。

「招き猫は、どこの都道府県で生まれたでしょう？」、正解は、東京都。この問題は、昔、江戸時代の頃、参勤交代にきたお殿様が、突然の雨に遭った際、目の前に猫が現れて「こちらで雨宿りをしてください」と手招きをして豪徳寺というお寺まで案内をしてお殿様をお寺の境内で雨宿りをさせたというお話から招き猫というキャラクターが生まれました。

クイズだけでなく、「あぶりカルビ」、「老若男女」、「鳥根のシネマは、ひまなシネマだ」という早口言葉にも挑戦してもらっています。

いつも、クイズや早口言葉を挑戦されるご利用者様の生き生きとした表情が見られることを楽しみにしています。

この度、「美味しい物が食べたい」とご利用者様方からリクエストがあったので、パイナップルジュースとコナツミルクを使った「ピニャコラーダ」というノンアルコールバージョンのカクテルを7月の誕生日会に提供させて頂きました。

誕生日会当日は、雨が降っていましたが、カクテルを召し上がったご利用者の皆様は、「夏を元気に乗り切れそうな美味しい飲み物を頂いて良かった」と喜ばれていました。

また、機会があれば、季節を感じられる美味しい物を皆様に提供していきたいと思います。

介護職員 花田 倫広



〈3F〉《5月 誕生日会》



暑さの厳しい折、皆様いかがお過ごしでしょうか。猛暑の報道があると「外に出たら倒れてしまいますね」と利用者様と話をしています。

さて、3階では5月の誕生日に九十八歳と百歳を迎えられた方がいます。誕生日会ではみんなで集まりカラオケ大会をし、ハッピーバースデーの歌を大きな声で歌いました。たちばな苑からのプレゼントを渡した後に誕生日者の方からのスピーチを頂きました。一人目の方は、「皆さん今日はありがとうございます。ぼくは昔…」とスピーチでは普段口数の少ない方がマイクを通して笑顔でスピーチをされました。そして二人目の百歳を迎えられた方は、記念写真を撮る際に目をつぶってしまいましたが、素敵な笑顔が見られました。お話はできませんでしたが職員が「百歳になりましたね。おめでとうございます」と言うと「百歳！？うわー！うれしいな

あ〜！」と大きな声で喜ばれました。誕生日会に参加されていた利用者様が百歳になられた方をみて「あの方百歳ですって！すごいわね〜！私も頑張らなくちゃね」とお祝いの言葉を言われました。

誕生日会がある日はいつもより豪華な食事とおやつが利用者様に提供されます。今月も食事とおやつの時間になると皆、目を輝かせて「これはどうしたの？」「こんなにいいものを食べていいの」と非常に喜ばれました。

最後になりますがこれからも職員一同、利用者様が楽しく穏やかに過ごせるよう尽力して参ります。暑い日が続きませんが、ご家族の皆様もどうぞ体調に気をつけてお過ごしください。

介護職員 岩端 摩季

〈4F〉《7月七夕・7月お楽しみ会》



7月7日は七夕でした。たちばな苑では毎年七夕の笹をエレベーター前に飾っています。利用者様に短冊に各々の願いを書いてもらい、笹にそれぞれの願いを飾りました。短冊に書かれた内容は様々で「皆に優しくしてもらい感謝」と感謝の気持ちを書かれる方もいれば、「美味しいご飯が食べたい」等の願いを書かれた方もおられました。短冊に書かれる時は、書くのに苦戦している方や遠慮してなかなか書けない方もおりましたが職員が手伝いながら、丁寧に書かれていました。

7月のお楽しみ会では、七夕や7月の行事にちなんだクイズゲームをしました。「そうなんだねえ、勉強になったわ」「難しいわ」と言われながら一生懸命悩みながらも答えられていました。コロナ禍では行事等も少なく利用者様に色々な事を我慢してもらった事が多かったのですが、徐々に行事も再開できて嬉しく思います。これからも感染対策に気を付け、安全を確保しながら利用者様に楽しんで過ごしていけるよう援助していきたいです。

介護職員 佐宮 琢馬



デイケアセンター

通所リハビリ

☆健康麻雀☆

かつては「ギャンブル」というイメージが強かった麻雀ですが、近年では頭と指先を使うことから認知症予防に効果があると注目されています。そこで、デイケアでも麻雀を取り入れてみることにしました。

いざ始めてみると、出来る方が多いことにとても驚きました。「昔は、遊びに行くところがなかったから、家で家族麻雀をしていたよ。」と慣れた手つきでされる方や、「久々に忘れていたなあ。」と思い出しながらされる方など様々でしたが、いざ勝負となると顔つきが変わり、真剣に！！色々な卓から雀士が登場していました。

麻雀に興味のある方はデイケアで是非一局どうぞ！

☆麻雀用語漢字クイズ☆

下の漢字の読み方はわかりますか？

①立直 ②面子 ③錯和 ④自摸 ⑤七対子 ⑥国士無双

※正解はこのページの一番下にあります。



☆パーラー・デイケア☆

今回は2回に分けて、フルーツパフェとクリームソーダを作りました。

1回目は、フルーツパフェを利用者様に作って頂きました。慣れた手つきで果物やカステラを包丁で小さく切り、たくさんのお皿に綺麗に盛りつけをして、あっという間に完成！「おいしい♡」「お腹いっぱい♡」「こんなの初めて作った。」「楽しかった。」などの感想を頂きました（^-^）

2回目は、クリームソーダです。今回は職員がおもてなしをしました。

「孫たちは食べるけど、私は初めて。どうやって食べたらいい？」「何年ぶりかな？」「お腹もだけど、胸がいっぱいになった♡」「来て良かった〜。」など、嬉しい感想を頂きました。今度は何を作しましょうか？



・ピカチュウを探せ！！

“ピカチュウ”ってご存知ですか？子ども達に人気の『ポケットモンスター』に出てくる、黄色のネズミのキャラクターです。

現在、デイケアフロアや2階エレベーター前にたくさんのピカチュウが隠れています。何匹のピカチュウが隠れているのか・・・、実は私も分かりません（笑）

お近くにお越しの際は探してみてくださいね。



ピカチュウ



麻雀用語漢字クイズの答え

①リーチ ②メンツ ③チョンボ ④ツモ ⑤チートイツ ⑥コクシムソウ

介護職員 長町 理絵

七夕

今年も七夕の季節がやってきました。職員が短冊を準備すると「なにになに?」「何しようん?何事?」と皆さん興味津々。短冊にお願い事を書いて頂くようお願いすると「え〜!お願い事なんか急に言われても思いつかんしなあ・・・。」と言いながらしばらく短冊とにらめっこしながらそれぞれのお願い事を書いて笹にご自分で吊るしておられました。「子供のときはこんなこともしたなあ。懐かしい。」と言われ楽しそうな様子で笹の周りは大賑わいでした。「願い事はどんなのでも何個あってもいいん?」と願い事が沢山ありすぎて何枚か書いておられる方もおられました。個人に向けてのお願い事や、家族や職員に向けてのお願い事もありました。看護学生さんと願い事を一緒に吊るし笑顔も見られ良い時間を過ごす事ができました。皆さんの願い事が叶いますように!!!



ヨーヨー釣り

先日ヨーヨー釣りをデイサービスで行いました。沢山のヨーヨーの中からお気に入りを選ぶのにじっくりプールの中にあるヨーヨーを眺めている方もいれば好きな色が決まってるので迷いもなく「これでいいわ!これにする!」と一目散にお目当ての物を釣っておられました。釣ったあとで「やっぱりこれにしたらよかったかなあ?」と迷われている方もおられ「持って帰ったら皆喜んでくれるかなあ?」と嬉しそうにされていました。「昔はよくこんな事をしたけどなかなか見なくなってここで出来るのは嬉しいなあ。」と昔を懐かしんでおられました。また、皆さんに喜んで貰える企画をまた計画したいと思います (^▽^) /



最近の作品作り

デイサービスでは季節の作品作りを行っています。なかなか季節に追いつくのに大変ですが皆さんそれぞれ担当をされ積極的に取り組まれています。まだ途中ですが今から完成が楽しみです。



介護職員 稲本 祐子

特別養護老人ホーム

パリオリンピック



大きな入所者様も多く、「私は、バレーボールが観てえなあ。」
「バスケットボールが、ええなあ。」と思ひ思ひの競技があるようでした。きっと職員も入所者様と一緒に
「あれ、見られました?」「よかったですね。」と会話も弾むことと思います。

飾りも、オリンピックにちなんで“頑張れひまわり”としました。



日頃より、折り紙で器用に箱や毬を作成されているU入所者様。
今回は、テレビや新聞もしっかり観られ「そろそろ夏季オリンピックじゃなあ。そしたら、次は五輪でも折ってみようかなあ」と挑戦意欲をみせられました。

決意すると、行動も早く取り掛かれました。職員も驚いたのは、角度や長さ等正確に計算から始まったことです。「完成したよ(^▽^)/」と見せてくれましたが「ありゃ、真ん中はよう見たら黒じゃが。(; ∨ ;)」と笑って直されていました。

出来上がると「凄いなあ。ようしたなあ」と皆さん笑顔で喜ばれていました。

それをみられたU入所者様も、とっても嬉しそうでした。

スポーツ観戦大好



理由は、それぞれ何でもいいので自分の目標に楽しく向き合えるきっかけとなればいいと思ったからです。さあ、入所者様は何を頑張るかな? 職員も何を頑張るかな?

(^▽^) ワクワクしながら過ごしたいと思います。

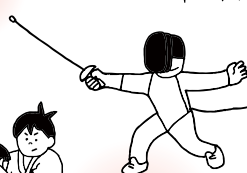
まずは、自身の健康が一番!!!

元気にラジオ体操から、はりきって継続は力なり(^^)音楽が聞こえると、入所者様・職員も一緒に自然と体が動きます。♪

他にも、ユーチューブを活用し様々な体操も楽しまれています。

これからも、入所者様と寄り添いながら楽しんでいけたらと思います。

暑い夏、第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)を、憩いの丘から熱い応援と共に盛り上げたいと思います (^_ ^)
“頑張れ日本”



介護副主任 間野 万貴

夏だ！祭りだ！楽しんでリハビリ！！



手作り射的ゲーム



「つめてー！おいしー！」



「もー脱ぎたくない!!」



包装紙で手作りエコバック

手作り提灯



「昔を思い出すなー!!」



丸く丸く真剣・集中!



7・8月は夏祭りシーズンです！憩いの丘デイサービスセンターは祭り月間！！

そもそも夏祭りは、いつから、どんな目的で始まったのでしょうか？

お祭りの起源は紀元前、神話の時代にまでさかのぼります。

天照大神が天の岩戸に隠れた時、なんとか出てきてもらおうと、踊りの名手アメノウズメがお尻をふってダンスをし天照大神が岩戸から出て世界が光をとりもどしたという神話があります。以来、神社や寺院を舞台に祭りが始まったと言われています。

少しずつ、コロナ禍以前の日常に戻すべく、デイサービスセンターでも夏祭りを開催しました。

手作り提灯で飾り付けると、まずはビジュアルから気分を盛り上げます。

法被や浴衣で着飾ると、ヨーヨー釣り、射的を楽しみました。

浴衣を勧めると、始めは頑なに「もーいいわー。腰も曲がるとるしー。」と断っていたご利用者様も、一人着られると、次に続きます。

職員が着付けをさせていただきましたが、自分でも「昔は着物ばー着よーた。」と自然に手が動いていました。「何十年ぶりに着たわー。誰が言うて着せてくれりゃーなー。柄も気に入ったし、本当に着て良かったー。もー脱がらんわー。」と最高の笑顔。

ヨーヨー釣りでは、真剣な表情で、輪にカギがひっかかるまで全集中で取り組みました。釣り上げると「釣れたでー。」とまたまた笑顔があふれました。釣れたヨーヨーは、予め皆様で作ったエコバックに入れてプレゼント！利用者様手作りの射的では、「当たった！うちの青！」など言いながら5本の矢をうまく的に当てて得点を競いました。

休憩には、ちょっとひと息かき氷で、涼をとりました。「おいしい！暑いのが一気に冷めるわー。」と喜ばれました。

おやつはたこ焼きでは、利用者様も、くるくると櫛でまわしてまわしてまん丸に焼き上げました。中身は速筋ソーセージやちくわ、厚揚げを入れて仕上げに乾燥パセリをふりかけて栄養面もバッチリ！！

「おいしーわー。買うのよりもえかったでー。」と満面の笑み。

“楽しみながらリハビリ”し、ひと夏の思い出作りのお手伝いができたことは私達の喜びとモチベーションアップにもつながりました。



介護老人保健施設(ユニット型)

備中荘Instagram始めました



5月31日(金)に、備中荘のInstagramを開設しました。備中荘での日常やイベントなど、さまざまな情報を発信していく予定です。是非アカウントのフォローしてください。よければ、投稿に「いいね」の方をお願いします。もし、Instagramをしていない方は、この機会に是非Instagramをはじめてみませんか？
備中荘Instagramアドレスはこちら…

https://www.instagram.com/bicchusou?igsh=bHIwZjFzbWlsc-jVy&utm_source=qr
介護職員 谷山 貴大



初夏の彩り弁当



毎年6月恒例となりました、初夏の彩り弁当を今年も召し上がっていただきました。梅雨のジメジメを吹き飛ばせ！のつもりで毎年この時期にご用意していますが、今年は梅雨入りが遅く、この日も晴天。「今日は何の日？」と聞かれ…「来る梅雨に備えて気分を上げておきましょう！」とお答えしたとかしないとか。枝豆ごはんや茶そば、紫陽花まんじゅうで季節を感じていただき、食の細い方もペロッと召し上がってくださいました。この日の様子は備中荘のインスタでも是非ご覧ください。
管理栄養士 谷口 直美

岡山市介護ロボット普及推進事業『TANO』をレンタル中！

令和6年度岡山市介護ロボット普及推進事業に応募し、「TANO」を借りることができました。「TANO」とは、モニターに映し出されるゲームで、センサーの前に立つだけで体の動きや音声に反応します。そのため、設置すればすぐに利用でき、180種類以上のプログラムが用意されているので、飽きることなく楽しく運動や口腔体操、レクリエーションを行うことができます。利用期間は7月1日から9月30日までの3か月間です。ゲーム感覚で楽しく体を動かせるため、利用者からは「楽しいけど、疲れるね」との声も聞かれています。プログラムも豊富なので、集団体操などにも活用し、スタッフの業務負担軽減につなげていきたいと考えています。3か月間、有効に活用していきたいと思います。動画はbicchusouインスタをご覧ください。

理学療法士 村藤 卓秀



感染委員会勉強会（食中毒）を実施

6月17日(月)・24日(月)に仁科先生による感染症の勉強会がありました。今回の勉強内容は食中毒についてでした。

中毒とは…から話が始まり発生状況や食中毒の分類・種類について色々と教えていただきました。年中食中毒はあり、特に6月の梅雨の時期には食中毒が増える事は知っていましたが食中毒になる要因や治療法が沢山あると今回の勉強会で知りました。

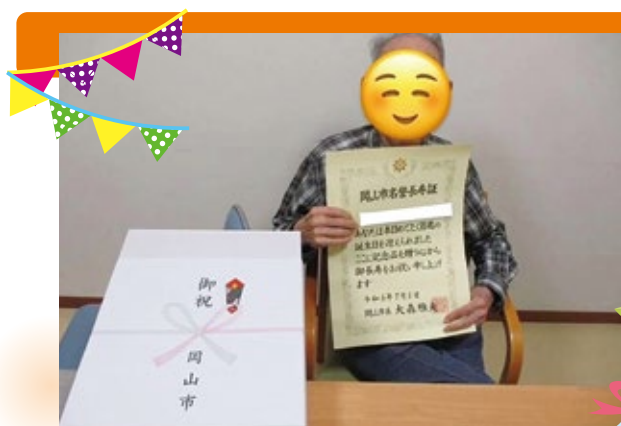
今回の勉強会で日々の衛生管理・体調管理・一人一人の感染防止の意識が大切だと学びました。



介護職員 黒田 裕香

祝100歳♡

7月で100歳になられた方に、岡山市から賞状と記念品が届きました！まだまだ元気!! 長生きしてください。



理学療法士 木村 早希

済生会吉備病院の感染セミナーに参加

6月11日(火)・6月18日(火)に吉備病院で行われた研修会に参加させて頂きました。

今現在備中荘では感染者は出ていませんが、昨今季節関係なく流行っており、コロナも完全終息したわけではないと研修で話されていました。研修会で今後の具体的感染対策をどうしていけばいいのか等話して下さい、この内容は施設に持ち帰り職員間で共有し、対策していかなければならないと感じました。貴重な研修会に参加させて頂きありがとうございました。研修を活かして日々の業務に励んで行きたいと思ひます。



介護職員 村上 理加

避難訓練を実施

6月26日(水)に避難訓練を実施しました。

避難訓練は年に2回実施しており、いざという時の本番に備えて利用者役・職員役に分かれて備中荘全体で取り組んでいます。何度実施しても反省点は多くあり、繰り返し避難訓練を行う重要性を感じました。現実になると慌ててしまうこともあると思うので日頃の訓練を大切に今後も取り組んでいこうと思います。



理学療法士 木村 早希



星に願いを

短冊を笹に飾ることは、元々手芸や裁縫などの技の上達を願うために江戸時代から行われてきたようです。宇垣荘では指先のリハビリを兼ねて飾りつけをし、脳トレを兼ねて願いを何にしようか思いを巡らせました。そして、おそうめんをお腹いっぱい、おいしく頂きました。これが一番人気でした♪

この時期になると、いつも思い出すのが西日本豪雨のこと。あれからちょうど6年たち、コロナ禍を経て今、目の前にある当たり前の日常がいかに幸せかを考えさせられる1日になりました。

7月7日は天候に恵まれ、星がたくさん出ていました。夏の大三角を見つける事が出来ました♥御津の夜空に輝く、天の川で一人一人の大切な人に出会えることを願っています。



デイサービスセンター

開所記念日昼食交流会

令和6年7月1日に宇垣荘は、無事12周年を迎える事が出来ました。これも皆様のおかげと感謝の念に堪えません。日頃の感謝と皆様との親睦を図る事を目的に、7月4日に宇垣荘開所日記念昼食交流会を開催しました。

各会場に集まり、机に飾られたお花を見て皆様の笑顔の花があちらこちらで。この花は持ちかえりが出来る様に準備させて頂きました。

まずは、乾杯から。「酔ったわ〜（ノンアルコールです）」そして、お待ちかねの松花堂弁当に目も舌も、そして会話も楽しみました。最後はお待ちかねのイベント紙芝居のはじまり、はじまり〜♪お祝いの席にどうかなと正直心配ではありましたが「さらやしきのおきく」を聞いていただきました。皿屋敷のお菊と言えば有名な怪談話ですが、今回はちょっと違います。落語家さんの脚本で最後にあっと驚く展開が。美人のおきくさん、サービス満点です。皆さんの笑い声に読み手も気合が入ります。

皆様、楽しんでいただけましたか。
これからも宇垣荘をどうぞよろしく
お願いします。



生活相談員 國富 由香里

小規模多機能型居宅介護事業所

短冊に世界平和を!!

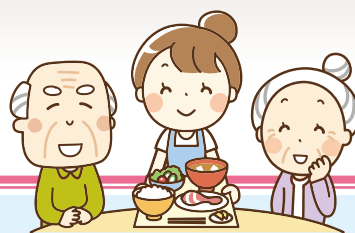
♪笹の葉さらさら のきばにゆれる お星さま キラキラ♪

7月7日は七夕の歌を皆様と歌い、短冊に書かれた願い事が叶うようお祈りしました。7月に入り七夕飾りの作成も熱心に取り組まれました。今年の願い事は「目指せ100歳」と長寿を願う方もいれば「世界の人々が共に手をつなぎ世界平和を願います」と書かれた人もいました。スケールが大きい願いに頭が下がる思いです。

私たち職員もまだまだご利用者様から学ばせて頂くことがたくさんあるなあと感じられた七夕の一日でした。



介護職員 橋本 千佳



年に何度か昼食をセレクトメニューで提供しています。

皆さん楽しみにしていて、事前のアンケートも参考に今回（6/28）のメニューは主菜をハンバーグとマカロニグラタン、また主食をごはんと食パンのうちから選ぶものでした。

本来なら食堂で一堂に会して、他の人のセレクトを見ながら話も弾んだことと思いますが、残念ながら園内でコロナ感染が発生していて、各自のお部屋での食事となってしまいました。

ただ下膳のときに自分が選んだものは美味しかったと言われ、少しは気晴らしになったのではと思っています。



介護職員 能勢 光宏

イベント食

7月17日の昼食は、手打ちうどんの実演によるものでした。うどんはコシがポイントということで数人の方には踏んでいただきました。今回のイベント食は自分たちが作った感も重なり、「わあー、コシがあっておいしい。」「茹でたてのおうどんを食べたのは何年ぶりかな。」などなど大好評で楽しいものとなりました。

これからイベント食も充実していく予定で、9月にステーキ、11月に駅弁などを計画しています。

どうぞご期待ください。

管理栄養士 友次 朋恵



入所者の生活に潤いを持たせる取り組み



コロナウイルスの感染対策に長い間取り組んでいた為、ご家族、外部との接触が自由に持つことができませんでした。世の中が少しずつ、感染対策の緩和とともに、病気と上手く付き合いつつも、徐々にコロナ前の状態に戻していこうという流れが起こっています。

当施設においても、そういう流れのなかで入所者家族との面会を状況を見ながら自由に会って頂いています。また、入所者の楽しみである訪問販売も対面販売を再開し、生活に潤いを持たせています。また地域との関わりという視点に目を向けた時に、行事等で関わ

りを持っていたボランティアの方々にお声を掛けさせて頂き、8月から交流活動の再開を決定しました。それ以上に入所者からは「外出して買い物がしたい」「美味しいものを食べに行きたい」等コロナ前に出来ていたことをまたやりたいという気持ちや思いが強くなってきており、そのことについて、職員のなかで慎重に検討しているところです。外出が出来るまでの間、コロナ禍のなかで取り組んできた作業レクリエーションでの作品づくりが楽しみとなっていて多くの作品が出来ています。

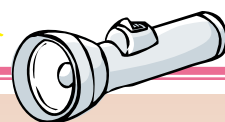
今夏、コロナウイルスの感染者が増加しており、慎重な対応が今後も必要なところではあります。

花火や盆踊りといった行事がこれから沢山行われる時期ですが、普段からの感染予防の取り組みを怠ることなく、楽しい時間が過ごせるよう支援していきたいと考えています。



生活相談員 田村 嘉章

全館停電



5月23日に全館を停電しての非常用発電機の始動点検を実施しました。

開設11年目にして初めてのことでした。

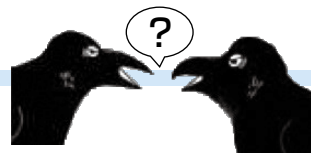
切断後の館内は日中にもかかわらず非常灯だけではかなり暗く、当然のことながらトイレも不便で感知式の水道も使用できませんでした。G回路は事務所ほか限られた場所にしかなく、いかにその電源を有効活用すべきかを考えさせられました。

今回わずか1時間の停電であり、その間は最低限の電力使用しかしていませんが（エレベーター1機のみ稼働・非常口フラッシュ等）、それでも軽油は1/3程度消費しており長くはもたないのだと知りました。

また、改めてライフラインの大切さと途絶えてしまった場合の対処と日ごろからの備えをBCPの会議等で話し合いながら実践していきたいと考えています。



事務職員 坪本 恭平



「カラス」(漢字：烏)(英名：Crow)



R6.5 総社 ハシボンガラス

済生会外来センター病院2F待合のガラス越しに偶然目にした“ペアで巣作りしている”カラスを紹介します。日本で見かけるカラスは大きく分けてハシボソとハシブトに分かれるようですが、巣作りしているカラスは特徴から**ハシボンガラス**とします。カラスは鳥類の仲間では特に知能が高いことで知られており一般の5～7歳児と同程度の説もある。記憶力も高く、一度石を投げられると投げるふりをするだけでその場を避け様子を窺うなどの行動をする。又、人間の顔や服装を覚えておりグループで情報を共有し攻撃してくることもある。寿命は野生で10年・飼育で20年程度とされています。

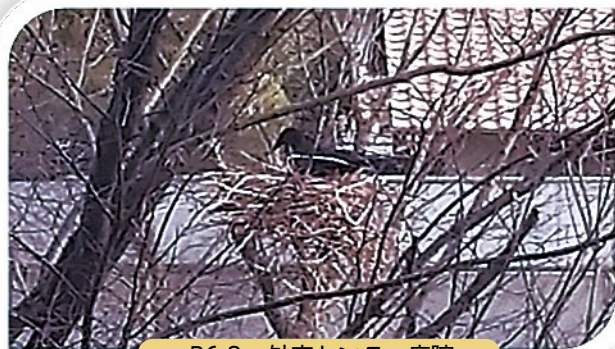
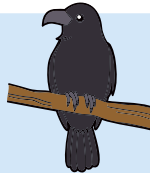
数週間後に観察に行くと、巣がきれいに撤去されていました。残念!!(特に子育て中はカラスの警戒心が強く、近くを通ると攻撃されるおそれがあり、利用者さんに危害が及ばないように、止む無く処理されたのだと思います。)

※鳴声の回数と内容

- ・1回(仲間の挨拶)
- ・3回(空腹)
- ・4～6回(威嚇～警報)

※賢い理由

脳化指数(体に対する脳の比重が大きい)高い



R6.3 外来センター病院

	ハシボンガラス	ハシブトガラス
特徴	額が出っ張っていない	額が出っ張っている
くちばし	細く上嘴があまり曲がっていない	太く上嘴が曲がっている
鳴き方	「ガアー」と濁った鳴声で、鳴声に合わせてお辞儀のように頭を上下に動かす	「カー」と澄んだ鳴声で、体を水平にし、鳴声に合わせて尾を上下に振る
歩き方	足を交互に動かして歩く	スズメと同様にジャンプするように移動する
生態	人家に近い低山地や農耕地など開けた場所に生育し、非繁殖期には夜間決まった林に集団でねぐらをとる	森林に生息しているが、近年都市部では残飯などの食べ物が簡単(理由の一つに、自治体による黒色のゴミ袋に代わり中が簡単に透けて見える袋の義務づけ)に得られることで急激に増加したとされている
食性	やや植物食傾向が強い	より肉食傾向が強い

好物は、唐揚げ・マネヨーズなど若者と変わりません!!

参考:Wikipedia

時にカラスの集団を目にすると、子供の頃に観た“鳥が人間を集団で襲う”アルフレッド・ヒッチコック作品のホラー映画「鳥(The Birds)」や、幼鳥から飼われ“人の言葉を物まねするカラス”をお供に自転車で村々を巡回し商売していた「砥ぎ屋」さんを懐かしく思い出しますが、皆さんは如何ですか?

時に、『カラスの勝手でしょ!』と言いたい口に出せない私です。

やよいの里 服部 豊



猛暑、酷暑と呼ばれる「危険な暑さ」が続いています。熱中症は予防が大事です。特に高齢者は暑さを感じにくいので、部屋の温度調整や水分・塩分の補給など適切な対策を講じることが必要です。

また、「新型コロナウイルス」は5類に移行後も、まだまだ感染拡大の兆候があり、当施設では6月に集団感染が発生しました。

皆さんの施設でも、皆の協力で、暑さや感染症の波を乗り越えていきましょう。

玉松園 岡本 忠志

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣 荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707
憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松 園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058
備中 荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332

福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.93

2024.夏号



デイケアセンターの皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～11
- 憩いの丘…………… p12～13
- 備中荘…………… p14～15
- 宇垣荘…………… p16～17
- 玉松園…………… p18～19
- 里山の生き物in岡山…………… p20